

平成 25 年 12 月 24 日

**平成 25 年度政府補正予算（第 1 号）（案）について**  
**（広島大学関係分）**

【総合大学】

平成 25 年度政府補正予算（第 1 号）（案）については、「好循環実現のための経済対策」（平成 25 年 12 月 5 日閣議決定）を踏まえ、12 月 12 日に閣議決定されたところですが、本補正予算（案）に本学関係分として以下の事業が対象予定事業として内示を受けました。詳細については、別紙資料を参照ください。

なお、本補正予算（案）については、今後、国会審議を経て決定されるものであり、現時点では予定事業であることを留意願います。

## 【競争力強化策】

## ○科学技術イノベーションの推進（重点課題の研究開発）

事業名	部局等	備考
放射光入射装置安定化システム	放射光科学研究センター	資料 1

## 【復興、防災、安全対策の加速】

## ○国公立学校施設の耐震化・老朽化対策等の推進

事業名	部局等	備考
（東広島）実験研究棟改修Ⅲ（工学系）	工学研究科	資料 2
（霞）総合研究棟耐震改修（医学系）	霞キャンパス	

## 平成25年度政府補正予算（第1号）（案）

## ○事業名 放射光入射装置安定化システム

## ○設備の概要

放射光入射装置安定化システムは、放射光源リング中を周回する電子ビームのゆらぎを低減し、放射光実験の精度を格段に向上させるためのシステムである。

電子ビームのゆらぎが現在の10分の1以下（ $100\mu\text{m}/\text{日}$ から $10\mu\text{m}/\text{日}$ ）に抑えられることにより、極めて高い精度の物質・ナノ解析が実現する。

註） $\mu\text{m}$ ：マイクロメートル＝1000分の1ミリメートル

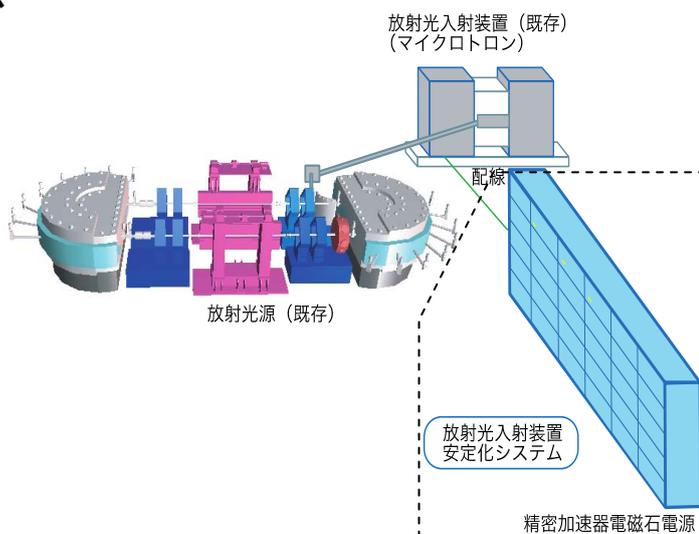
## ○期待される効果

本システムを導入することにより、超伝導物質の内部を運動する電子の挙動を高い解像度で可視化する技術が飛躍的に向上する。これまで、観測が困難であった電子の挙動の微細な変化を鮮明にとらえることが可能となる。

本システムは、世界をリードする放射光計測技術と国内外の卓越した研究者を結集した高いレベルの国際共同研究の展開を促進し、物質・ナノ科学研究に革新をもたらすほか、地球規模の環境・エネルギー問題解決や当該分野の将来を担う人材育成に大きく貢献する。

## ○設備の構成

## 放射光入射装置安定化システム



本件に係る照会先  
谷口 放射光科学研究センター長  
082-424-6293

## 平成 25 年度政府補正予算（第 1 号）（案）

### ○事業名 （東広島）実験研究棟改修Ⅲ（工学系） （霞）総合研究棟耐震改修（医学系）

#### ○事業概要及び期待される効果

（東広島）実験研究棟改修Ⅲ（工学系）

##### ◆事業概要

本事業は、老朽化が著しく耐震性能が低い工学部実験研究棟 A 4 に対して、耐震補強を含む建物内外部の大規模改修を実施するものである。

##### ◆期待される効果

- ・耐震性能の向上による安全・安心な教育・研究環境の構築
- ・実験室の改善と共同利用実験室の設置による機能的な研究環境の再生
- ・スペースマネジメントにおける全学共同利用スペースの創出により、プロジェクト研究への機動的・統括的なサポートを実現化

（霞）総合研究棟耐震改修（医学系）

##### ◆事業概要

本事業は、耐震性能が低い旧第 2 中央診療棟及び旧第 3 中央診療棟に対して、耐震補強を実施するものである。

##### ◆期待される効果

- ・耐震性能の向上による安全・安心な教育・研究環境の構築
- ・病院跡地整備におけるスムーズな移行環境の確保

東広島キャンパス



工学部実験研究棟A4

霞キャンパス



旧第2中央診療棟  
旧第3中央診療棟

本件に係る照会先  
財務・総務室  
松田 施設企画グループリーダー  
082-424-6101